

生徒指導通信

すず竹

令和2年8月28日

伊那市立東部中学校

文責：大畑 賢二

夏休みを終えて。

新型コロナウイルス感染拡大防止措置の臨時休校のために、予定されていた期間よりも短い15日間の夏休みが終わり、2学期がスタートして1週間が過ぎました。保護者の皆様のおかげで、生徒たちは夏休み中、無事に過ごせました。ありがとうございました。

今回の夏休みには、中体連上伊那大会が行われ、3年生を中心とした運動部はどの部も今までの練習の成果を挙げて、実りある大会となりました。保護者の皆様には、コロナ対応にもご協力いただきありがとうございました。

さて、2学期の学校行事として9月25日（金）26日（土）に予定されている「すず竹祭」があります。

すず竹祭もコロナ対応の関係で、例年とスタイルを変更しての開催となりますが、少しでも充実したすず竹祭になるように生徒会実行委員会を中心に準備を進めています。



昨年度の満席の祖父母に感謝する会

9月10日（木）～16日（水）は自殺予防週間です。

保護者の皆さん。子どもの自殺を防ぐためには、家庭や学校、地域における対応や連携が大変重要です。過去約40年間の統計によると、夏休み明けや学校の長期休業明け、春休みやゴールデンウィーク直後などに子どもの自殺者が増える傾向があります。

このような時期は、子どもにとって生活環境が変化して、大きなプレッシャーや精神的動揺が生じやすい時期と考えられます。

そこで、このような時期に注目し、子どもの変化をキャッチし、家庭や学校、地域が連携して子供への見守りの強化や子どもとの相談時間を確保するなどの対応が効果的になります。

また、誰でも不安や悩みを抱えることはありますし、そんなときは「誰かにSOSを呼んでもいいんだ。」というメッセージを子どもたちに伝えていきたいですね。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため外出の自粛などがあり、生活様式の変化から、ストレスを抱えている子どもも少なくありません。

このプリントの裏面に、厚生労働省が発行したポスターを印刷してあります。相談先電話番号が記載されていますので、必要に応じてご活用ください。